

平成 30 年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って平成 30 年度も、細胞科学分野における研究助成 10 件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学 4 件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘 4 件を実施した。

平成 31 年度の各種助成のために、それぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成 38 件、育成助成 4 件、国際交流助成 6 件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、平成 31 年度助成対象者を選出した。また、平成 28 年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 平成 30 年度助成金の交付

平成 30 年度各種助成については、研究助成 10 件、育成助成 4 件および国際交流助成 4 件が平成 30 年 3 月 3 日開催の平成 29 年度第 3 回理事会において議決承認された。平成 30 年 4 月より研究助成 10 件（1 件 300 万円、総額 3,000 万円）、育成助成 4 件（1 件 240 万円、総額 960 万円）および国際交流助成 4 件（1 件 50 万円、総額 200 万円）のそれぞれに順次、助成金を交付した。〔資料 1〕

なお、育成助成については留学に必要な費用が高額になっていることを踏まえて、平成 30 年度助成から 1 件 240 万円を 4 件程度とすることが平成 29 年 5 月 19 日の理事会で決議されている。

2. 平成 30 年度研究助成金贈呈式開催

平成 30 年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：平成 30 年 6 月 2 日（土）午前 11 時 30 分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

3. 平成 31 年度助成事業

（1）各種助成の募集の細目

平成 30 年 4 月 23 日開催の企画委員会での検討を経て、平成 30 年 5 月 10 日の第 1

回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

研究助成

募集テーマ：①心不全－基礎と臨床

②感覚の基礎と臨床

応募受付期間：平成30年9月3日から平成30年9月28日まで

専門委員： テーマ① 坂田 泰史（大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授）

福田 恵一（慶應義塾大学医学部 循環器内科 教授）

小室 一成（東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授）

テーマ② 西田 幸二（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学
眼科学 教授）

山嵜 達也（東京大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野 教授）

清水 孝雄（国立国際医療研究センター プロジェクト長，
東京大学名誉教授，東京大学特任教授）

※所属・役職は就任時

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：平成30年9月3日から平成30年10月31日まで

なお、育成助成については、今年度より国内留学の場合は1件120万円を給付金額の上限とすることになった。

[資料2]

(2) 募集

研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設170余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計38件（テーマ①：25件、テーマ②：13件）であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は4件（海外）であった。（6件の応募があったが内2件は審査中に申請取り下げ）

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開し

た結果、応募数は6件（招聘）であった。

（3）選考

研究助成：三段階方式による選考

1. 平成30年10月12日～11月15日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として20件（テーマ①：11件、テーマ②：9件）に絞られた。
2. 平成30年11月26日～平成31年1月9日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 平成31年1月31日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

1. 平成30年11月26日～平成31年1月9日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 平成31年1月31日：本審査（以下の通り）

平成31年1月31日：本審査

開催日時：平成31年1月31日（木）午後6時より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内1-9-1）

選考委員および専門委員により平成31年度各種助成交付対象者（研究助成10件、1件300万円総額3,000万円、育成助成4件、1件240万円総額960万円および国際交流助成6件、1件50万円総額300万円）が選出され、理事長に答申された。平成31年3月6日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。

〔資料3〕

5. 助成研究報告集等

平成28年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第29巻（2018）、および財団年報第30号（平成29年度）を一冊にまとめて「助成研究報告集・年報第3巻（平成30年）として平成30年10月1日に発刊し、全国の国公私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成30年5月10日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 平成29年度事業報告および平成29年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 理事および監事改選に関する件：原案通り承認可決された。

第3号議題 平成31年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。

第4号議題 平成30年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会

開催日時：平成30年6月2日（土）午前11時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

第1号議題 議長選任の件：互選により名取俊二氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により大谷光昭氏および澤田拓子氏が選任された。

第3号議題 平成29年度事業報告および平成29年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 理事および監事選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 平成31年度各種助成募集について：平成30年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

報告事項2 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：平成30年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

3. 第2回理事会

開催日時：平成30年6月2日（土）午後2時より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

第1号議題 理事長、常務理事選定の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 名誉理事選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成30年3月3日以降の業務執行状況報告を行った。

4. 第3回理事会

開催日時：平成31年3月6日（水）午後5時より

場 所：塩野義製薬株式会社東京支店
（東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング7階）

第1号議題 平成31年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 平成31年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 平成31年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 選考委員任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 助成事業へのWebシステム導入の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は平成30年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

5. その他

平成30年6月12日 内閣府に平成29年度事業報告書等の定期提出書類をWeb提出した。

平成30年6月25日 内閣府に理事および監事の変更届をWeb提出した。

平成31年3月26日 内閣府に平成31年度事業計画および予算の定期提出書類をWeb提出した。

IV. 添付資料

〔資料1〕平成30年度各種助成金受領者名簿

〔資料2〕平成31年度各種助成募集要項

〔資料3〕平成31年度各種助成金受領者名簿

以上

平成 30 年度 研究助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 脳血管-機能とその異常

研究者	所属機関・職名	研究題目
久保田 義顕 クボタ ヨシアキ	慶應義塾大学医学部 解剖学 教室・教授	ヒト、マウス自閉症発症における脳血管 を介した Lrrc33 の機能の解明
田井中 一貴 タイケ カズキ	新潟大学脳研究所 システム 脳病態学・特任教授	3D イメージングによる脳小血管病の病態 解析
武田 朱公 タケダ シュウコウ	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学・寄附講座 准教授	神経変性蛋白が脳血管機能に与える影響 の解明と認知症治療法への応用
林 悠 ハヤシ ユウ	筑波大学国際統合睡眠医科学 研究機構(WPI-IIIIS)・准教授	睡眠時の脳血流のダイナミックな制御と その破綻の神経基盤の解明

テーマ 2 : 肥満症-基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
大石 由美子 オオイシ ユミコ	東京医科歯科大学難治疾患 研究所 先端分子医学研究部 門 細胞分子医学分野・テニ ュアトラック准教授	「細胞代謝-機能連関」を標的とした抗肥 満・抗生活習慣病治療の開発
齊藤 達哉 サイトウ タツヤ	徳島大学 先端酵素学研究所 炎症生物学分野・教授	肥満に起因する自然炎症が引き起こす 組織障害の誘導機序解明
羽鳥 恵 ハトリ メグミ	慶應義塾大学医学部眼科学 教室時間生物学研究室・特任 准教授	概日時計と食事時間による霊長類の脂 肪細胞の機能制御
福中 彩子 フクナカ アヤコ	群馬大学生体調節研究所 分子糖代謝制御分野・助教	亜鉛トランスポーターZIP13 による新規 褐色化制御機構の解明
山口 良文 ヤマグチ ヨシフミ	東京大学大学院薬学系研究 科遺伝学教室・准教授	冬眠する哺乳類が有する自律的体重セ ットポイント変更機構の解析
脇 裕典 ワキ ヒロリ	東京大学大学院医学系研究科 分子糖尿病科学講座・特任准 教授	褐色脂肪細胞特異的な転写制御とエネ ルギー・糖・脂質代謝における NFIA の 役割

平成 30 年度 育成助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 240 万円 4 件, 960 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
表 紀仁 オモテ ノリヒト	名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科・病院助教	特発性肺線維症における single cell RNA-sequencing による原因遺伝子の解明 Yale University School of Medicine
松田 潤 マツダ ジュン	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学講座・ポスドクター	糸球体疾患の新規治療を目指したポドサイト内異常シグナルの解明 McGill University Health Centre (MUHC)
向山 順子 ムコウヤマ ジュンコ	神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学分野・医学研究員	シングルセル RNA-Seq. 解析による大腸癌の早期転移形成機構の解明 Columbia University
安本 有希 ヤスモト ユキ	東北大学大学院医学系研究科 器官解剖学分野・助教	成体脳ミクログリアにおけるミトコンドリア機能維持の神経可塑性調節における意義 Yale University School of Medicine

平成 30 年度 国際交流助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 50 万円 4 件, 200 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
<p>袖岡 幹子 ソデガキ ミコ</p> <p>理化学研究所 袖岡有機合成化学研究室</p>	<p>BERTOZZI, Carolyn R.</p> <p>Stanford University</p>	<p>日本ケミカルバイオロジー学会第 13 回 年会</p> <p>2018 年 6 月 11 日～13 日</p> <p>東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂</p>
<p>竹田 潔 タケダ キヨシ</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科</p>	<p>Randy Longman</p> <p>Weil Cornell Medicine</p>	<p>マクロファージ分子細胞生物学国際シ ンポジウム</p> <p>2018 年 6 月 19 日～20 日</p> <p>大阪大学銀杏会館</p>
<p>原田 彰宏 ハラダ アキヒロ</p> <p>大阪大学医学系研究科 細胞生物学 教室</p>	<p>Pietro De Camilli</p> <p>イエール大学 (アメリカ合衆 国)</p>	<p>日本細胞生物学会 日本発生生物学会 アジア太平洋発生生物学ネットワー ク</p> <p>2018 年 6 月 5 日～8 日</p> <p>タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4 丁目 1- 1)</p>
<p>宮園 浩平 ミヤゾノ コウヘイ</p> <p>東京大学大学院 医学系研究科 分 子病理学分野</p>	<p>Peter ten Dijke</p> <p>Leiden University Medical Center</p>	<p>第 12 回国際 BMP カンファレンス (12th International BMP Conference)</p> <p>2018 年 10 月 24 日～28 日</p> <p>東京大学 伊藤国際学術センター 伊藤 謝恩ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)</p>

公益財団法人細胞科学研究財団

平成31年度研究助成募集要項

1. 研究助成の対象となるテーマ：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。

但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

①「心不全－基礎と臨床」

②「感覚の基礎と臨床」

2. 助成金額：

300万円／1件

採択件数：

10件以内

3. 応募資格：

国内の研究機関等に所属する平成30年9月1日現在満45才未満の独立した研究者（大型研究費を受けておられる方はご遠慮下さい）

4. 応募方法：

(1) 所定の用紙（申請書および推薦状）をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。

(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得て下さい。

推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に限り推薦できます。

(3) 申請書に必要事項を記入し、推薦状と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。

(4) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

5. 応募受付期間：

平成30年9月3日（月）より **9月28日（金）** 必着

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。

助成金は平成31年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139

FAX：06-6202-1996

URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成31年度育成助成募集要項

1. 育成助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 平成30年9月1日現在 満35才以下の研究者
(同一の研究において他財団との助成金の重複を認めません)
 - ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(平成31年4月以降平成32年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りませ)ニ. 留学先および留学期日の変更は認められません。改めて申請して下さい。
2. 給付金額： 1件240万円まで/年 (国内は1件120万円まで/年)
採択件数： 4件程度
3. 給付期間： 1年間
4. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
5. 応募受付期間： 平成30年9月3日(月)より **10月31日(水)** 必着
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および留学報告書を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および助成金の交付について：
採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。
助成金は平成31年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先：
公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成31年度国際交流助成募集要項

1. 国際交流助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ハ. 年度内(平成31年4月以降平成32年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。
2. 助成金額： 20～50万円／1件
採択件数： 4件程度
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額のおおまかな内訳をご記入下さい)
3. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
4. 応募受付期間： 平成30年9月3日(月)より **10月31日(水)** 必着
5. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
6. 報告義務： 収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。
7. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
8. 採否通知および助成金の交付について：
採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。
助成金は平成31年4月以降に贈呈いたします。
9. 連絡先：
公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成 31 年度 研究助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 心不全-基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
稲垣 薫克 イカキ タカカツ	国立循環器病研究センター 血管生理学部・上級研究員	IL-6 シグナルによる重症肺高血圧症及び右心不全の病態形成機構の解明と新規治療法の開発
西田 基宏 ニシダ モトヒロ	九州大学大学院薬学研究院 創薬育薬研究施設統括室・教授	ミトコンドリア品質管理に着目した新規心不全治療戦略の構築
野村 征太郎 ノムラ セイタロウ	東京大学医学部附属病院 循環器内科・特任助教	シングルセルオミックス解析による心筋細胞可逆性の制御機構の解明とその臨床応用
肥後 修一郎 ヒゴ シュウイチロウ	大阪大学大学院医学系研究科 重症心不全内科治療学寄附講座・寄附講座准教授	アレル改変疾患 iPS 細胞を用いた難治性心筋症分子基盤に介入する治療法創出
松浦 勝久 マツウラ カツヒサ	東京女子医科大学 先端生命医学科学研究所・准教授	血管新生抑制機序を介した心臓の恒常性および心不全増悪機序の解明
向井 康治朗 ムカイ コウジロウ	東北大学大学院 生命科学研究科 細胞小器官疾患学分野・助教	心筋梗塞に伴う炎症応答における STING 経路の活性制御機構の解明
横山 真隆 ヨコヤマ マサタカ	千葉大学大学院医学研究院 分子病態解析学・特任准教授	単一細胞解析による「心臓特異的な」Angiocrine Factor の同定と心不全における新たな病態的役割の解明

テーマ 2 : 感覚の基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
菊田 周 キクタ シュウ	東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・特任講師	新生嗅細胞の分化・成熟過程におけるインスリンの役割の解明
竹内 春樹 タケuchi ハルキ	東京大学大学院薬学系研究科・特任研究員	嗅覚刺激に基づく認知症予防効果の検証
茶屋 太郎 チャヤ タロウ	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学研究室・助教	環境に適合した光応答を可能にする網膜神経回路のスイッチング制御機構の解明

平成 31 年度 育成助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 240 万円 4 件, 960 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
竹田 充伸 タケダ ミツブ	大阪大学医学系研究科 消化器外科学・医員	ミトコンドリア代謝に基づいた大腸癌幹細胞標的治療薬の開発 The University of Texas MD Anderson Cancer Center
玉井 望雅 タマイ ミリ	山梨大学医学部小児科・ 医員	ES/iPS 細胞を用いた正常造血及び白血病発症モデルにおける胚細胞変異の多様性の意義 Washington University School of Medicine in St. Louis
平塚 健 ヒラツカ ケン	慶應義塾大学医学部 腎臓 内分泌代謝内科・共同研究 員	3D バイオプリンターを用いたミニ腎臓の作成と腎線維化モデルの構築 Harvard Medical School, Brigham and Women's Hospital
星 雄二郎 ホシ ユウジロウ	東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科・ 特任臨床医	聴力温存を考慮した人工内耳挿入に伴う蝸牛内細胞障害の 3 次元解析 Dept of Otolaryngology-Head and Neck Surgery University of Iowa Hospitals and Clinics

平成 31 年度 国際交流助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 50 万円 6 件, 300 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
青木 淳賢 アキ ジュンケン 東北大学大学院薬 学研究科 分子細 胞生化学分野	遠山 祐典 シンガポール国立大学 メカ ノバイオロジー研究所	第 92 回日本生化学会大会 2019 年 9 月 18 日(水)～20 日(金) パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみ らい 1 丁目 1-1)
掛谷 秀昭 カヤ ヒデアキ 京都大学大学院薬 学研究科	Jörn Piel ETH Zürich	日本薬学会第 140 年会 2020 年 3 月 25 日(水)～3 月 28 日(土) 国立京都国際会館 他
楠 進 クスキ スム 近畿大学医学部神 経内科	Brian G. Weinschenker Department of Neurology, College of Medicine, Mayo Clinic	第 60 回日本神経学会学術大会 2019 年 5 月 22 日(水)～25 日(土) 大阪
深田 俊幸 フカダ トシユキ 徳島文理大学薬学 部薬学科 病態分 子薬理学研究室	Thomas O' Halloran Department of Chemistry, Northwestern University	第 6 回国際亜鉛生物学会学術集会 (The 6th meeting of International Society for Zinc Biology (ISZB-2019)) 2019 年 9 月 9 日(月)～13 日(金) 京都ガーデンパレス(京都)
水澤 英洋 ミヅサ ヒデアキ 国立精神・神経医 療研究センター	Gregor Wenning Medical University Innsbruck	国際多系統筋萎縮症コンgres (International Multiple System Atrophy Congress) 2020 年 3 月 20 日(金)～22 日(日) 東京大学伊藤国際学術センター 伊藤 謝恩ホール
横溝 岳彦 ヨコミヅ タケヒコ 順天堂大学医学部 生化学第一講座	Charles Nicolas Serhan Harvard Medical School	第 60 回国際脂質生物学会議 (60 th International Conference on the Bioscience of Lipids, ICBL) 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2) 2019 年 6 月 17 日(月)～21 日(金)

前記のとおりご報告いたします。

令和元年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩野元三